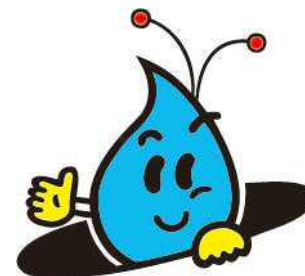


令和2年度 下水道事業会計予算の概要

令和2年(2020年)4月
札幌市下水道河川局



1 公営企業会計の特色

- 公営企業会計の収支は**収益的収支**と**資本的収支**の2種類に区分されます。

【収益的収支】

- ・ 施設の運転、維持管理に関する収支
- ・ 1年間の経営成績を表す

【資本的収支】

- ・ 施設の建設・改築に関する収支
- ・ 収入と支出の効果が複数年に及ぶ

- 収益的収支で生み出した資金は、資本的収支の収支不足を補うために使用します。

2 令和2年度予算の概要(収支の概要)

【収益的収支】

(消費税込、単位:億円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減	主 な 増 減 理 由
収益的収入 A	523	529	▲6	下水道使用料の増 一般会計繰入金の減
収益的支出 B	504	507	▲3	委託料の増 支払利息の減
差 引 A-B	19	22	▲3	

【資本的収支】

(消費税込、単位:億円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減	主 な 増 減 理 由
資本的収入 A	222	201	21	企業債の増
資本的支出 B	396	377	19	建設改良費の増 企業債償還金の減
差 引 A-B	▲174	▲176	3	

2 令和2年度予算の概要(資金残高)

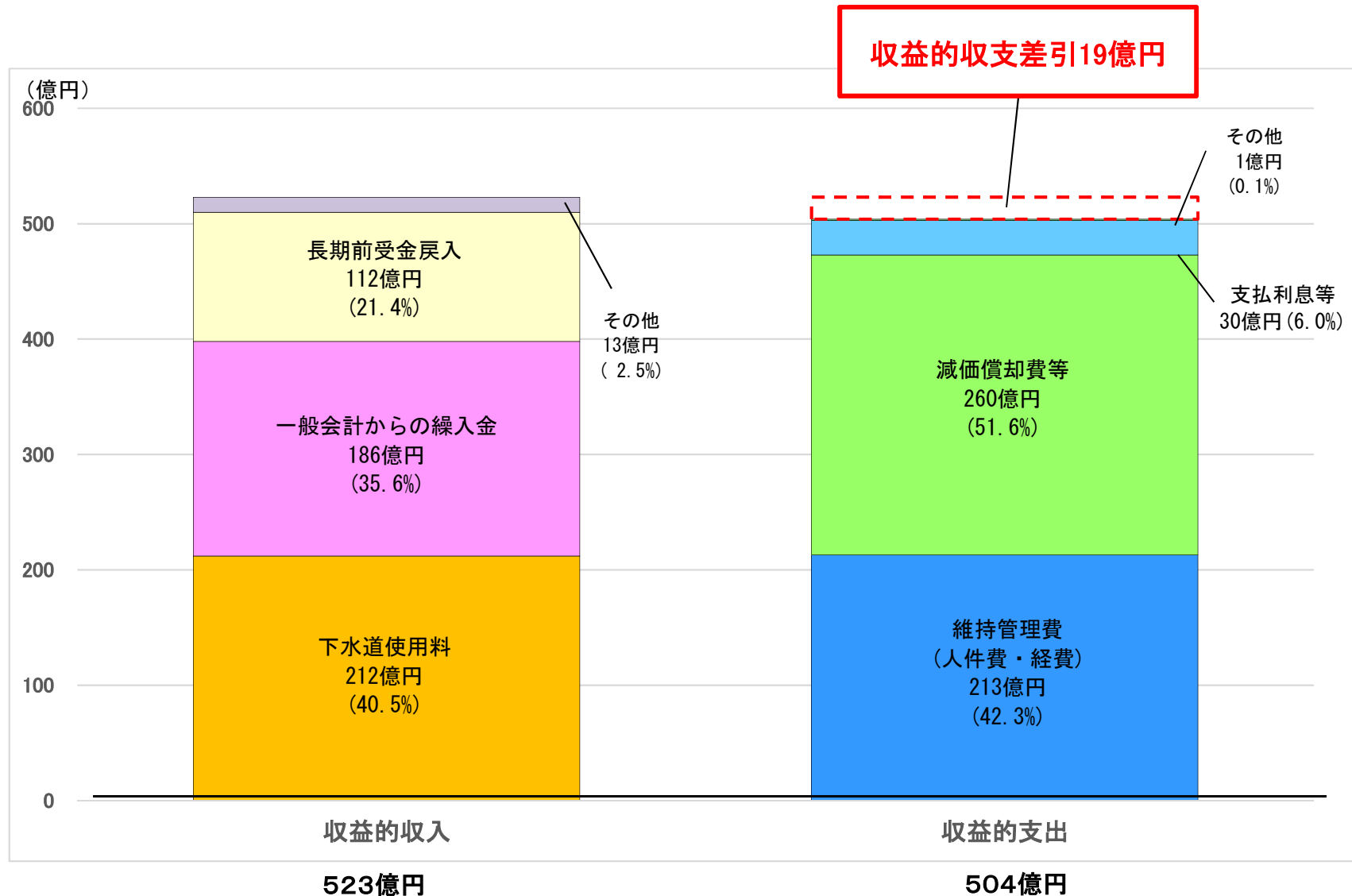
○資本的収支差引▲174億円を、収益的収支19億円と当年度分損益勘定留保資金等(※)148億円で補てんし、前年度からの繰越金である過年度分内部留保資金56億円を加えると、令和2年度末の資金残高は49億円となる。

(消費税込、単位:億円)

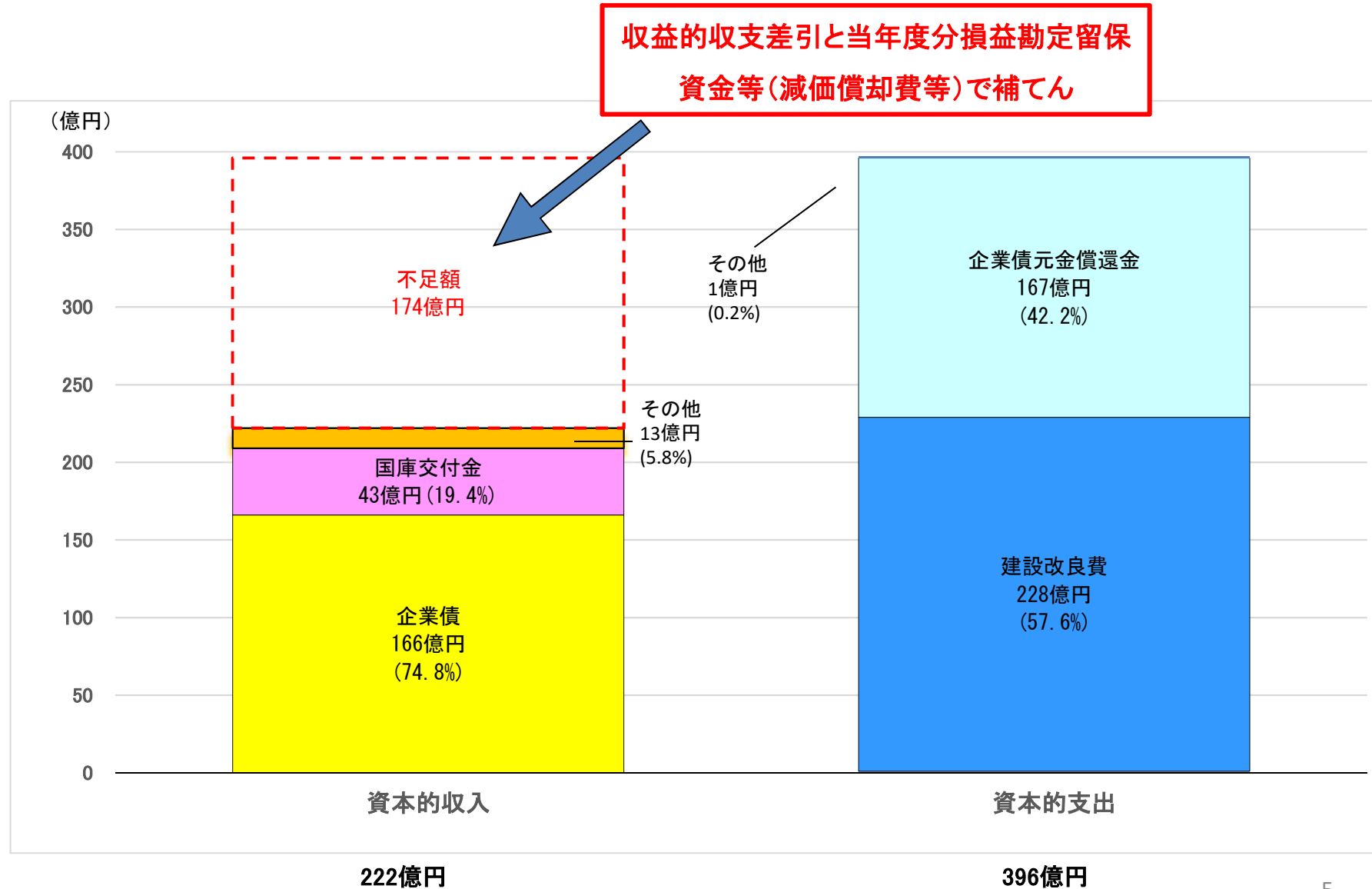
区 分	令和2年度	令和元年度	増 減
収益的収支差引 A	19	22	▲3
資本的収支差引 B	▲174	▲176	2
当年度分損益勘定留保資金等 C	148	141	7
小計 D=A+B+C	▲7	▲13	6
過年度分内部留保資金 E	56	74	▲18
合計(資金残高) D+E	49	61	▲12

※損益勘定留保資金等:現金支出を伴わない支出等(減価償却費等)によって企業内に残る資金。

2 令和2年度予算の概要(収益的収支)



2 令和2年度予算の概要(資本的収支)



3 令和2年度予算の主要事業

【下水道施設の再構築】老朽管の改築

- 札幌市では、昭和40年代から50年代にかけて集中的に下水道施設の整備を進めたため、今後、耐用年数(50年)を超える管路が急増する見込みです。
- 現在、目視点検やテレビカメラ調査などによって、管路の劣化状況や不具合を把握し、修繕による延命化や改築を計画的に進めています。
- 改築事業量については、段階的に増加させていく予定であり、令和2年度は31.7kmの改築を実施する見込みです。

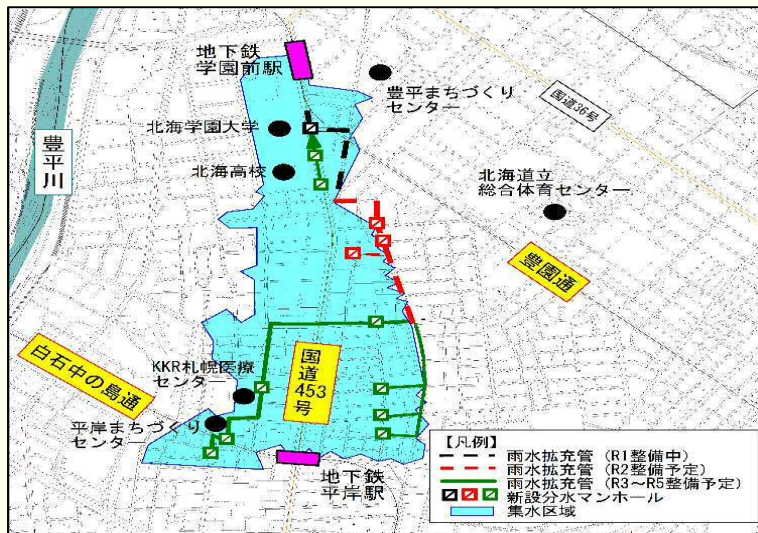


3 令和2年度予算の主要事業

【下水道施設の災害対策(雨水対策)】雨水拡充管の整備

- 札幌市では、集中豪雨等により、たびたび浸水被害が発生しており、対策の推進が必要です。
- 主要な事業として、国の補助事業である「下水道浸水被害軽減総合事業」を活用し、令和元年度から令和5年度までの期間で、平岸地区における雨水拡充管の整備を行っており、令和2年度は約0.8km整備する予定です。

令和2年度整備箇所図



雨水拡充管イメージ図

